

SHIFT_the future



cube

LVシリーズ





cube

キューブLVラインアップ



新しくなったキューブにLVのラインアップが勢揃い。
コンパクトな車体・ユニークなデザインに
LVとしての機能を加え、更に使いやすくなって登場。



**最小回転半径4.4mで
小気味良い取り回し。
小回りもラクラク。**



**外観はコンパクトなのに
室内はひろびひろ。
今までと開放感が違います。**



**ロング&ワイドなルーフで
余裕の頭上空間。
後席からの見晴らしもバツグン。**



**左後方のピラーを細くして
左後ろの視界を確保。
駐車時・車線変更時も安心。**

アンシャンテ
助手席に座らせて
あげたいとお考えの方

フラップシート

■お年寄りや着物をお召しになった方



P.3

助手席回転シート

■ひざや腰に痛みを感じている方
■立ち上がりを負担に感じている、
足元がおぼつかない方
■家の中では歩くけれど、外では車いすをご使用の方



P.4

助手席スライドアップシート

■主に日常生活は車いすを使用し、
介助があればシートへの移乗ができる方



P.5

チェアキャブ
車いすのままお乗せ
したいとお考えの方

スロープタイプ

■車いすからシートへの移乗が困難な方
■通院や通学など、短時間の移動をされる方



P.6

ドライビングヘルパー
主に下肢が不自由で
ご自分で運転される方

オーテックドライブギア装着車 取付専用車



P.8



アンシャンテ フラップシート

- ボタンひとつで展開し、簡単に収納できる手動式フラップシートを装備。
- 座面が広がり、お年寄りや着物をお召しになった方も乗り降りがスムーズ。



Photo: アンシャンテ フラップシート(手動式)〈助手席タイプ〉SX(2WD)。
ボディカラーはホワイトパール(3P)〈#QX1・特別塗装色〉。内装色はグラファイト(K)。

■ 助手席タイプ



ロック解除ボタン



ドアを開け

- ・ シート側面の解除ボタンで、フラップシートが出てきます。
- ・ フラップシートに腰をおろし、体を正面に向けます。
- ・ フラップシートを収納し、ドアを閉めます。

座面の寸法(助手席タイプ・運転席タイプ共通)

Ⓐ: 310mm Ⓑ: 170mm 地上高: 約560mm

■ 運転席タイプ



■ オートテック扱いオプション



運転席/助手席アシストグリップ

シートからの乗り降りをサポートします。
(助手席または運転席の前側ビラー(内側)に装着)

※色はグレー色のみとなります。
※写真は助手席アシストグリップ装着例。

■ 内装色/フラップシート生地色組合せ

内装色	フラップシート生地色
エクリュ(S)	ベージュ色(C色)
グラファイト(K)	ブラック色(G色)
モカ(P)	

⚠️ ご検討にあたってご留意いただきたい点

- フラップシートは立ち上がりを助けたり、美しく両足をそろえて立ち上がるためのものです。自力歩行が困難な方にはおすすりできません。
- フラップシートを装着した側のシートのリクライニング操作はストラップでの操作となります。
- オートテック扱いオプション「助手席アシストグリップ」「運転席アシストグリップ」には、ぶらさからないでください。



アンシャンテ 助手席回転シート

- 軽いレバー操作で助手席を外側に90°回転、さらに車外に最大130mmスライド。
- 助手席アシストグリップを標準装備しているので、乗り降りがラク。
- 標準車と同じシートを採用し、シートスライドもできるので使い勝手もバツグン。



Photo: アンシャンテ 助手席回転シート SX (2WD)。ボディカラーはホワイトパール(3P)〈#QX1・特別塗装色〉。内装色はグラファイト(K)。

■ 助手席回転シート操作方法



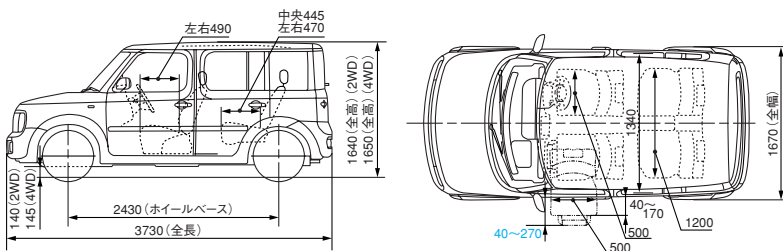
- スライド(手動)
スライドレバーを操作して、シートを車内へとスライドさせます。
※写真は乗車時を再現しています。降車時はこの逆の操作となります。安全のため、シートの操作は介助者が行ってください。
※乗車時の助手席回転シートの室内前後スライド量は、200mmとなります。また、フルリクライニング及びフルフラット機能は使用できません。
※大型フロントアームレスト(収納ボックス付)、センターコンソールボックス、センタースリットは装備されません。
- 回転(手動)
回転用レバーを操作して、シートを正面へ90°回転させます。

■ 助手席アシストグリップ(標準装備)

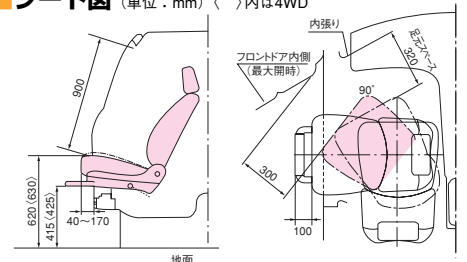


シートからの乗り降りをサポートします。
※助手席の前側ピラー(内側)に装着
※色はグレー色のみとなります。

■ 二面図 (単位: mm)



■ シート図 (単位: mm) 〈 〉内は4WD



■ オートテック扱いディーラーオプション 自操式車いすは参考例

車いす収納装置(電動式)〈アンシャンテシリーズ全車に設定〉 吊り上げ能力: 30kgまで



車いすにフックをかけた状態 車いすを吊り上げた状態 車いすを収納した状態 車いすを固定した状態

- 電動クレーンタイプの車いす収納装置です。
- 電動で車いすを持ち上げラゲッジスペースに収納することができるため、車いすの積み下ろしが楽におこなえ、介助する方の負担を軽減します。
- 車いすと接触する部分にはリヤバンパーガードマットを装備し、キズ付きを防止します。
- 自操式・介護式、どちらの車いすも収納可能です。(詳しくは右記「ラゲッジスペースに収納可能な車いすのめやす」をご覧ください)
※車いす固定時には、リヤシートのスライド、リクライニング、シングルフォールドができません。
※助手席回転シート及び助手席スライドアップシートは車いす収納装置(電動式)を装着した場合、車両の消費税は非課税となります。(フラップシートは課税です)



アンシャンテ

助手席スライドアップシート

- 回転～昇降がすべて電動のスライドアップシートを装備。
- 下降時はシート座面高が約460mmとなるので、車いすからの移乗も簡単。
- 室内でも電動シートスライドできるので、乗車時のシート位置移動もラク。



Photo: アンシャンテ 助手席スライドアップシート SX (2WD)。
ボディカラーはホワイトパール(3P)〈#QX1・特別塗装色〉。内装色はグラファイト(K)。
車いす収納装置(電動式)はオーテック扱いディーラーオプション。自操式車いすは参考例。

助手席スライドアップシート操作方法



●回転(電動)

操作スイッチまたはワイヤレスリモコン(オーテック扱いオプション)を押すと、シートのスライド位置自動調整機能により、シートが自動的に回転開始位置までスライドし、回転をはじめます。

※写真は降車時を再現しています。乗車時はこの逆の操作となります。安全のため、シートの操作は介助者が行ってください。フルリクライニング及びフルフラット機能は使用できません。

※大型フロントアームレスト(収納ボックス付)、センターコンソールボックス、センタースリットは装備されません。

●下降(電動)

シートは外側に90°回転した後、引き続き自動的に下降します。(操作スイッチから手を放せば、シートは途中で止まります。)

シートスライド機構



電動によるスライドアップシートの室内前後スライドが可能です。

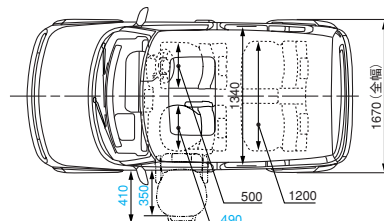
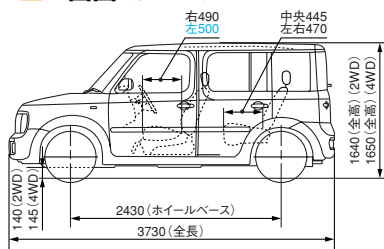


オーテック扱いオプション

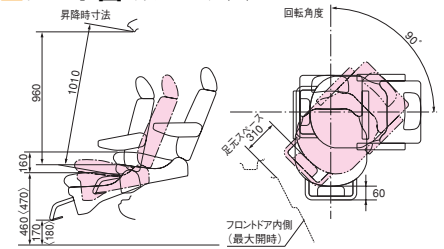


ワイヤレスリモコン
スライドアップシートを
操作するリモコンです。

■二面図 (単位: mm)



■シート図 (単位: mm) 〈 〉内は4WD



※各寸法値はメーカー設計値であり参考値です。

車いす固定用ゴムネット(アンシャンテシリーズ全車に設定)



車いすを固定した状態

●折りたたんだ車いすをゴムネットで簡単に固定できます。

※車いす固定時には、リヤシートのスライド、リクライニング、シングルフォールドができません。

※助手席スライドアップシートに車いす固定用ゴムネットを装着した場合は、車両の消費税は非課税となります。(フラッシュシート、助手席回転シートは課税です。)

■ラゲジスペースに収納可能な車いすのめやす

	車いすのサイズ
大車輪径(インチ)	12~24
全高(mm)	900以下
全長(mm)	1050以下
折りたたみ幅(mm)	340以下
アームレストまでの高さ(mm)	670以下

胸部固定ベルト

〈アンシャンテシリーズ全車に設定〉



着座姿勢をサポートします。

※胸部固定ベルトはシートベルトではありません。走行中は必ず車両のシートベルトを着用してください。

⚠️ ご注意にあたって ご留意いただきたい点

- シートに深く着座できない方、膝が曲がらない方は、足がボディにあたり、座った状態でのシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 座高の高い方、首の曲がらない方は、頭部がピラーにあたり、乗車が困難になりますのでご注意ください。
- 介助者の力が弱い場合には、乗り降りが困難になります。また、安全のため各操作は介助者が確実に行ってください。
- 助手席スライドアップシート・助手席回転シートにはチャイルドシートが装着できません。
- 助手席回転シートに標準装備の「助手席アシストグリップ」には、ぶらさからないでください。



チェアキャブ スロープタイプ

- ニールダウン機構(約90mm車高低下)を採用。スロープ角度が緩やか(約8°)なので車いすの乗車がラク。
- スロープを使用して乗車する際も、後退防止機能があるので安心。
- 車いすの固定も電動でできて便利。(オプション)



Photo: チェアキャブ。リヤシート有、スペアタイヤ付 SX(2WD)。ボディカラーはダイヤモンドシルバー(M)〈#KY0〉。内装色はグラファイト(K)。自操式車いすは参考例。

■スロープ開閉操作



スロープ操作方法

- ①バックドアを開き、スロープ脇のニールダウンスイッチの「下降」側を押します。(下がりきると自動で停止します)
- ②スロープ脇のロックをはずし、片手でハンドル部を握り、スロープをゆっくりと開きます。(手動)
- ③前側車いす固定ベルト用スイッチの「解除」側を押し、ベルトを引き出します。フックを車いすのフレームに掛け、前側車いす固定ベルト用スイッチを「固定」側にします。

④車いすを突き当たりまでゆっくりと乗車させます。(前側車いす固定ベルトは、後退防止機能があるので、途中で手を離しても車いすが後ろに下がることがありません。)

⑤【車いす搭載のポイント】(下図参照)の操作を行い、ベルトのたるみを取り、前側を固定し、**車いすのブレーキをかけます。**

⑥さらに後側車いす固定装置で車いすを固定・ロックします。

⑦車いすの固定・ロックを確認後、スロープを収納し、確実にロックします。ニールダウンスイッチの「上昇」側を押します。車高が上昇しきったら、最後にバックドアを閉めます。

■車いす専用(2点式)シートベルト



■ニールダウン機構(車高降下装置)



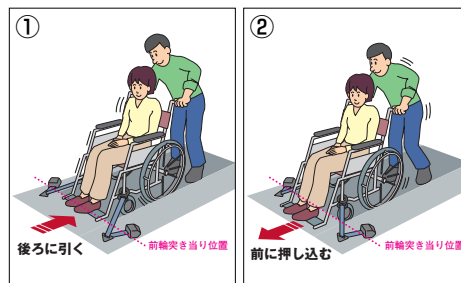
スイッチ操作で後部車高が約90mm下がるので、車いすを押してのスロープによる乗り降りがスムーズに行えます。(写真はニールダウン〈車高降下〉の状態を表しています)

■車いす搭載のポイント

搭載可能な寸法の車いすでも、車いすのタイプによっては、搭載後スロープを収納しようとした時に、スロープと車いすの後輪がぶつかる場合があります。その場合、

- ①いったん車いすを後ろに引く
- ②再度、突き当たりまで車いすを押し上げます

この操作を繰り返すことによって、車いすをより前方に固定することができます。**尚、最後に必ず車いすのブレーキをかけてください。**



■車いす固定装置 **〈販売会社取付となります。手動式または電動式いずれかをお選びください。〉**

車いす固定装置(前側)



車いす固定装置(前側)は、後退防止機能が組み込まれています。

車いす固定装置(手動式)〈後側〉



後側2ヶ所のフックを車いすにかけ、ベルトを引くことで簡単に固定することができます。



車いす固定装置(電動式)〈後側〉



後側2ヶ所のフックを車いすにかけ、スイッチを押すだけのワンタッチ操作です。



■バリエーション

乗車人数、用途などに合わせて、リヤシートの有無、スペアタイヤ、タイヤパンク修理キット搭載など様々なバリエーションをご用意しました。

リヤシート有/スペアタイヤ有仕様 定員5名(車いす乗車時3名)



リヤシート折りたたみ時



リヤシート設置時



専用リヤシート(ダブルフォールディング機構付)

- ・160mmの前後スライドのシートスライドや、左右独立のシートリクライニング機構付。
- ・簡単アクションでたたむことができます。

*スペアタイヤ装着車は右側座席はリクライニングしません。

スペアタイヤ

リヤシート無/タイヤパンク修理キット(オーテック扱いオプション)搭載仕様 定員3名(車いす乗員含む)



リヤシートのダブルフォールディング時は、フロントシートのシートスライド量が、最前端より12cm(10ノッチ)、またその位置でのリクライニングはシートバックの垂直状態より10°(3ノッチ)に制限されます。

■オーテック扱いオプション



タイヤパンク修理キット(スペアタイヤ無仕様)



助手席回転シート※& 助手席アシストグリップ

※リヤシート有車の場合、リヤシートをダブルフォールディングすると、回転可能位置が前寄りとなるので、シート回転時の足元スペースが狭くなります。

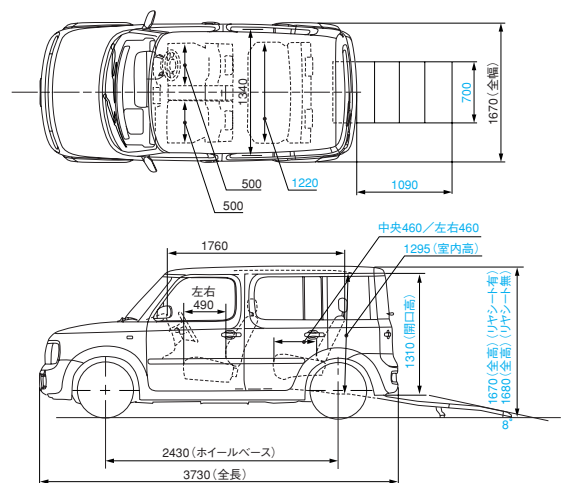


助手席アシストグリップ(前側ピラー内側)



フラップシート(手動式) 助手席タイプ

■二面図 (単位:mm)

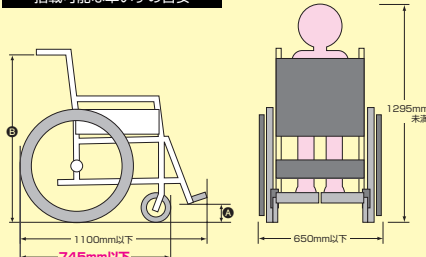


※各寸法値はメーカー設計値であり参考値です。

⚠ご検討にあたってご留意いただきたい点

- チェアキャブに搭載可能な車いすは右記の通りです。車いすの形状などによっては搭載できない場合がありますので、事前にデモカーでの確認をおすすめします。
- 運転される方の体格によっては運転姿勢がきつくなることがあります。
- スロープで乗り降りされる際には、必ず車いすの方の後ろに介助の方がついて下さい。
- スロープ出し入れの際には、車両後方及び車内に障害物がないか充分にご確認下さい。
- スロープの耐荷重は200kg(人+車いす)までです。

搭載可能な車いすの目安



- ① 車いす固定装置(手動式)の場合: 50mm以上
- 車いす固定装置(電動式)の場合: 90mm以上
- ② 720mm以上(補助ブレーキ付はレバー下端)



Photo: チェアキャブ。ボディカラーはダイヤモンドシルバー(M)〈#KY0〉